



『清掃活動の充実…掃除をしない生徒になっていませんか?』

最近、清掃を前向きに取り組めていない生徒が目につきます。先生方からも「掃除を一生懸命に取り組めない生徒が目につきます。」と話しかけられる事が多いです。清掃の取り組みの姿勢はその人の心の現れでもあります。掃除の時間に、しっかり取り組まず、さぼる生徒は他の仕事もいい加減になったり、集中力が散漫となって思わぬミスをしたりするものです。みんなで使用している教室や昇降口などの清掃に気持ちよく参加する生徒になってほしいと思います。私は3年生の昇降口の清掃監督者に割り当てられています。昇降口の掃除当番にあたっている生徒の中で掃除に対する取り組みの姿勢がとても素晴らしい男子生徒がいます。雑巾の担当になるとおしゃべりもせずに10分間黙々と床を磨きます。床を拭くのではなく磨くという表現があてはまり、「掃除がいやだな、面倒くさいな!」などの気持ちでなくて、「きれいにしたい!」という前向きな気持ちが伝わってきます。流しの担当にあたれば、流しの隅々までタワシで擦って水あかを取り除いてくれます。本当に見ていてその姿は気持ちがいいです。このような生徒は卒業してもその爽やかさが心に残っていて、卒業後、大人になって街角で声をかけられても中学生の時の姿勢が頭をよぎるものです。そして、大人になってもその爽やかさが残っていてうれしくなることが多いです。清掃活動など地道な活動を誠実に取り組める生徒は、人としての本当の力が身に付いていくのだと思います。

夏休みに入るまでの数週間を清掃強化期間として取り組みたいと思います。各自、清掃への意識をしっかり持って取り組んでください。特に各班の清掃リーダーにあたっている人は各班員の清掃分担をしっかり指示するなどして充実させてください。明日より「清掃強化期間」をスタートします。